



2024年8月26日

各位

会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
(東証スタンダード・コード3174)
代表者名 代表取締役社長 田 篤史
問合せ先 専務取締役 前原 聡
電話番号 03-3562-7525

ストームハーバー証券株式会社との業務協力に関する覚書締結のお知らせ

当社は、本日付の取締役会において、ストームハーバー証券株式会社（以下、「ストームハーバー証券」といいます。）との間で業務協力に関する覚書を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務協力の理由

(1) 当社グループのM&A戦略

当社グループは、インポートブランド品を中心とした「ブランドショップハピネス」をショッピングセンター中心に全国に展開しております。また、ジュエリーブランドAbHeri（アベリ）を都市型店舗を中心に展開しております。

当社グループは、2023年10月3日付公表の「2024年8月期～2026年8月期中期経営計画」に記載のとおり、ハピネス・アンド・ディの構造改革、M&Aの積極化、新規事業の子会社設立、AbHeriの展開拡大等の取組みを進めております。

当社グループは、今後さらなる業績・事業規模の拡大を図り、持続的な成長をしていくために、積極的なM&Aの推進及び新規事業の創出による新たな収益機会の獲得が必要不可欠であると考えております。

したがって、当社グループは、さらなる企業価値の向上を図るため、製販一体化モデルへの転換による利益率の向上、並びに、日本のブランドを海外に展開する事業モデルの構築を目指し、このようなビジネスモデルの構築に資する企業をターゲットとしてM&Aを積極的に推進してまいります。特に、宝飾部門及びバッグ・小物部門の強化のためのM&Aに注力してまいります。

具体的には、ブランド力のある商材を持つ製造業、卸売業、小売業、製造小売業や、海外市場・海外顧客に訴求できる商品力又はブランド商材を持つ製造業、卸売業、小売業、製造小売業を中心に、積極的に投資検討を進めてまいります。また、当社グループが現在取り扱っている商材と類似する分野だけでなく、その他の分野についても、幅広く検討を行ってまいります。

当社においては日常的に多数の案件情報を入手しており、当社グループと高いシナジー効果が得られる企業を幅広く検討対象としております。現在、複数の案件につき検討又は交渉を順次進めており、2024年8月期以降の約3か年において、1案件当たりの投資金額約1～3億円、2～4件程度のM&Aを実施していく計画です。

(2) 本業務協力の目的・背景

上記のような今後の当社の持続的成長のためには、多方面において専門的パートナーとの協業を進めていくことが必要不可欠であります。今般、ストームハーバー証券との本業務協力に基づき、両社それぞれが有するリソースの連携やノウハウ及びネットワークの相互活用を行うことによって、当社グループにおけるM&A戦略を強化し、新たなM&Aスキーム及びM&Aに伴う資金調達スキーム等を考案・構築することを企図しております。

ストームハーバー証券は、2009年に設立されたグローバルな金融市場に精通した独立系投資銀行です。同社の事業領域は、金融商品の仲介やアドバイザー業務といった一般的な投資銀行業務にとどまらず、国内又は海外の機関投資家引受によるエクイティファイナンスやM&A・資本業務提携等のアドバイザーのほか、ファンド及び金融商品の組成、マーケットリスクヘッジ戦略の策定、スタートアップ及び未上場企業の資金調達

支援など多岐にわたっております。

同社は、顧客企業の軍師・参謀として、スキームや戦略の立案・構築から実務面のプロセス等も含め、企業価値向上のためのテーラーメイドの財務戦略・資本政策全般に関するアドバイザリー業務を幅広く展開しております。

2023年10月12日付公表の「第三者割当による第11回新株予約権及び第12回新株予約権（行使価額修正型新株予約権転換権付）の発行に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、第11回及び第12回新株予約権の発行について、ストームハーバー証券を当社の財務アドバイザーとして起用しており、本資金調達を含む財務戦略・資本政策全般に関する情報提供・助言等を頂いております。

今般、ストームハーバー証券との本業務協力に基づき、同社の豊富な市場経験に基づく専門的知見・ノウハウ及びグローバルなネットワーク等を活用することによって、当社グループにおけるM&A戦略をさらに強化し、新たなM&Aスキームの検討や、当社のみでは取組困難なM&A案件等についても、今後積極的に検討していくことを視野に入れております。さらに、これまでの同社の実績から、国内又は海外の機関投資家・ファンド・協業パートナーの紹介や、当社の財務戦略・資本政策全般に関するアドバイス等も期待できるなど、事業上のシナジーが高いことから、このたび、同社が有する専門的知見・ノウハウ及びグローバルなネットワークは、当社グループの事業規模の拡大及び企業価値の向上に寄与するものと判断し、改めて同社との業務協力に関する覚書を締結することといたしました。

2. 業務協力の内容等

- (1) M&A案件の紹介・情報提供
- (2) M&Aスキームの考案・構築
- (3) M&A戦略及び手続き全般に関するアドバイス又はセカンドオピニオンの提供
- (4) M&Aに伴う資金調達スキーム・リスクヘッジ戦略等の考案・構築
- (5) 共同プロジェクトに参画する投資家・金融機関・事業法人等の紹介
- (6) その他両社に有用な情報の相互提供

3. 業務協力の相手先の概要

(1) 名称	ストームハーバー証券株式会社	
(2) 所在地	東京都港区赤坂一丁目12番32号	
(3) 代表者	代表取締役社長 渡邊 佳史	
(4) 事業内容	金融商品取引業	
(5) 資本金	390,000千円	
(6) 設立年月日	2009年7月	
(7) 当社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当該会社は、当社による第11回及び第12回新株予約権の発行に関し、当社の財務アドバイザーを務めております。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 日程

(1) 取締役会決議	2024年8月26日
(2) 業務協力に関する覚書締結日	2024年8月26日

5. 今後の見通し

本件が当社の連結業績に与える影響は軽微であります。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上